

## 学力向上モデル地区事業実績報告書

委員会名 備前市学力向上実行委員会

## 1 課題と期待する成果

## (1) 課題

- ・平成21年度及び平成24年度の全国学力・学習状況調査の結果において、本市の平均正答率は、多くの教科で全国及び県の平均正答率を下回っている。【表1】
- ・平成23～25年度の岡山県学力・学習状況調査の結果において、本市の平均正答率は、多くの教科で県の平均正答率を下回っている。【表2】
- ・また、家庭での学習習慣が身につけていないため、学習時間が少ない傾向が見られる。

【表1】

〈平均正答率〉

全国学力調査		小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H21	備前市	70.9	48.0	76.8	51.4	77.7	74.3	59.6	54.5
	岡山県	68.6	49.3	77.6	52.4	77.7	73.8	62.4	56.4
	全国	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9
	県との差	2.3	▲1.3	▲0.8	▲1.0	0.0	0.5	▲2.8	▲1.9
	全国との差	1.0	▲2.5	▲1.9	▲3.4	0.7	▲0.2	▲3.1	▲2.4
H25	備前市	58.9	44.9	74.1	52.5	74.4	62.7	59.2	35.7
	岡山県	61.4	47.7	74.6	57.2	76.4	66.4	62.8	40.3
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
	県との差	▲2.5	▲2.8	▲0.5	▲4.7	▲2.0	▲3.7	▲3.6	▲4.6
	全国との差	▲3.8	▲4.5	▲3.1	▲5.9	▲2.0	▲4.7	▲4.5	▲5.8

※平成22、24年度は、抽出調査。平成23年度は、東日本大震災で中止。

【表2】

〈平均正答率〉

岡山県学力調査		国語	社会	数学	理科
H23	備前市	69.4	47.1	53.7	56.0
	岡山県	69.9	50.0	56.9	60.3
	県との差	▲0.5	▲2.9	▲3.2	▲4.3
H24	備前市	70.9	58.1	64.8	55.3
	岡山県	71.4	58.8	63.2	54.9
	県との差	▲0.5	▲0.6	1.6	0.4
H25	備前市	56.2	59.5	44.6	45.7
	岡山県	58.0	62.4	46.2	46.0
	県との差	▲1.8	▲2.9	▲1.6	▲0.3

## (2) 改善したい点、目標

- ・本市では、平成25年度から10年後を見通した「備前市総合計画」をスタートさせているが、その中で教育を最重要施策としており、平成28年度には、岡山県学力・学習状況調査において本市の平均正答率が県の平均正答率を1.5ポイント上回ることを目標にしている。
- ・また、同様に「備前市総合計画」において、学校の授業以外で1時間以上学習する割合を65%以上にすることを目標にしている。

## 【備前市総合計画（平成25年度～34年度）より抜粋】

指標名	現状値 (H24年度)	目標値	
		平成28年度	平成34年度
市と県の平均正答率差 (中1対象県学力・学習状況調査)	+0.2ポイント	+1.5ポイント	+2.5ポイント
学校以外で1時間以上学習する割合 (中1対象県学力・学習状況調査)	58%	65%	70%

## 2 3年間の主な取り組み

### (1)「備前まなび塾」の実施

学習習慣づくり及び学習意欲の向上のため、地域人材を活用して、市内各公民館において土曜日や長期休業中に小中学生の希望者を対象とした学習支援を行った。

- ・ 会 場：公民館12箇所
- ・ 実施回数：土曜日講座は月2～3回程度、長期休業中講座は夏季休業中10日程度、冬季休業中3日程度実施。
- ・ 実施時間：準備・片付けを含めて3時間で実施した。  
学習時間は、1コマ40分で、10分の休憩を取りながら3コマ実施した。
- ・ 学習内容：小学生は、学校の宿題、まなび塾で用意したプリントを中心に自学自習や学び合いを行った。  
中学生は、まなび塾で用意した問題集や各自で用意した教材を中心に自主学习や学び合いを行った。
- ・ 塾 生：小学生220人、中学生51人（H27年度的人数）
- ・ 支 援 者：76人（H27年度的人数）  
市民の方を中心に、退職教員、大学生、高校生、市役所職員などが学習支援者やボランティアとして活動した。

### (2)家庭学習の啓発

「備前市まなびの7か条」の印刷・配付

## 3 得られた成果

### (1)全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果から

- ・実施年度によりばらつきは見られるが、備前市の平均正答率を県の平均正答率と比較すると改善傾向が見られつつある。【表3、4】
- ・また、家庭学習の状況についても改善傾向が見られる。特に、学校の授業時間以外に、普段1日あたり1時間以上学習する生徒の割合が平成27年度の備前市内の中学生では、県を約9ポイント上回っている。【グラフ1～3】

【表3】

〈平均正答率〉

全国学力調査		小学校				中学校			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
H25	備前市	58.9	44.9	74.1	52.5	74.4	62.7	59.2	35.7
	岡山県	61.4	47.7	74.6	57.2	76.4	66.4	62.8	40.3
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
	全国との差	▲3.8	▲4.5	▲3.1	▲5.9	▲2.0	▲4.7	▲4.5	▲5.8
	県との差	▲2.5	▲2.8	▲0.5	▲4.7	▲2.0	▲3.7	▲3.6	▲4.6
H26	備前市	69.0	55.0	79.2	56.3	80.4	51.4	72.1	63.2
	岡山県	71.4	54.5	77.8	56.6	78.2	48.1	65.4	55.9
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8
	全国との差	▲3.9	▲0.5	1.1	▲1.9	1.0	0.4	4.7	3.4
	県との差	▲2.4	0.5	1.4	▲0.3	2.2	3.3	6.7	7.3
H27	備前市	68.8	63.7	78.3	45.9	73.5	63.0	62.3	37.5
	岡山県	69.2	64.5	75.2	44.8	74.8	63.5	62.9	38.3
	全国	70.0	65.4	75.2	45.0	75.8	65.8	64.4	41.6
	全国との差	▲1.2	▲1.7	3.1	0.9	▲2.3	▲2.8	▲2.1	▲4.1
	県との差	▲0.4	▲0.8	3.1	1.1	▲1.3	▲0.5	▲0.6	▲0.8

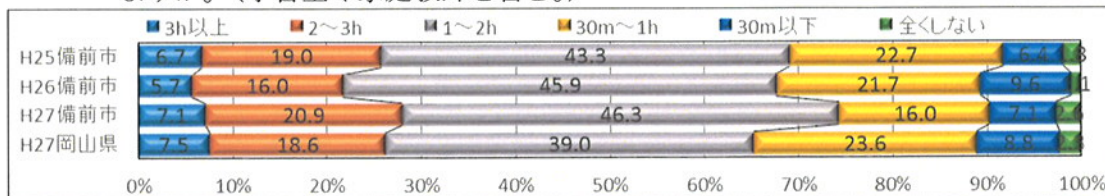
【表4】

〈平均正答率〉

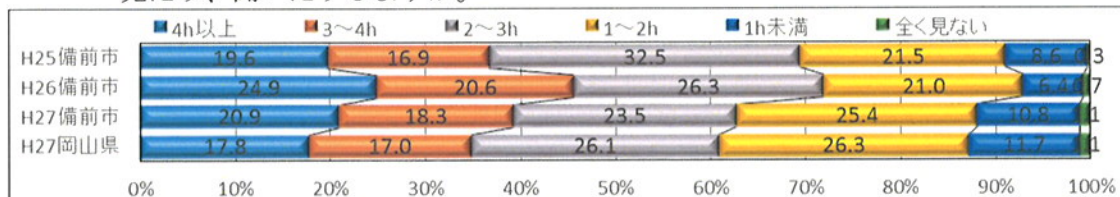
岡山県学力調査		国語	社会	数学	理科
H25	備前市	56.2	59.5	44.6	45.7
	岡山県	58.0	62.4	46.2	46.0
	県との差	▲1.8	▲2.9	▲1.6	▲0.3
H26	備前市	65.7	50.1	54.7	50.4
	岡山県	67.4	53.9	57.7	52.4
	県との差	▲1.7	▲3.8	▲3.0	▲2.0
H27	備前市	61.6	51.9	65.2	65.4
	岡山県	62.7	51.6	63.4	65.7
	県との差	▲1.1	0.3	1.8	▲0.3



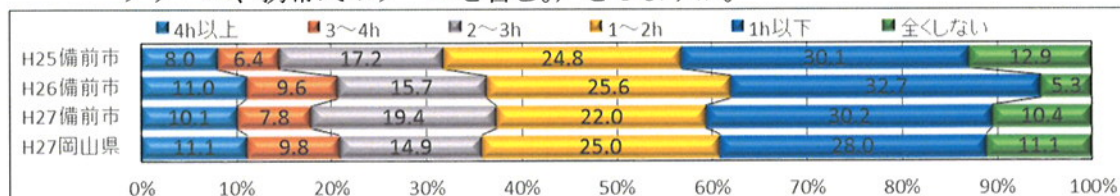
【グラフ1】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む。）



【グラフ2】普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



【グラフ3】普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む。）をしますか。



## (2) 同一集団の経年変化から

・上記(1)では、毎年対象の児童生徒が変わるため、備前市全体の変容は分かるが、同一集団の児童生徒の変容については、十分につかめないため、全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果を比較して、同一集団の経年変化をみる。

（例）平成26年度全国学力・学習状況調査の対象となった中学校3年生と平成24年度岡山県学力・学習状況調査の対象となった中学校1年生は、転出入等を除けばほぼ同一集団である。

・平成26年度備前市内中学校3年生の全国学力調査結果の県平均正答率との差を平成24年度岡山県学力調査結果の県平均正答率との差と比較すると、平成26年度備前市内の中学校3年生は、2年間で4.3ポイント学力が向上したと考えることができる。【表5】

・同様の考え方をすると、平成27年度備前市内の中学校3年生は、全国学力調査結果において県平均正答率を下回っているが、中学校1年から3年生までの2年間で0.9ポイント学力が向上したと考えることができる。【表6】

・平成26年度備前市内中学1年生の岡山県学力調査結果の県平均正答率との差を平成25年度全国学力調査結果の県平均正答率との差と比較すると、小学校6年生から中学校1年生までの1年間の同一集団（転出入・備前市外への中学校への進学を除く）の変容を見ることができる。そう考えると平成26年度備前市内の中学校1年生は、岡山県学力調査結果において県平均正答率を下回っているが、小学校6年生から中学校1年生までの1年間で0.2ポイント学力が向上したと考えることができる。【表7】

・同様の考え方をすると、平成27年度備前市内の中学校1年生は、小学校6年生から中学校1年生までの1年間で0.5ポイント学力が向上したと考えることができる。【表8】

【表5】H26年度中学校3年生の経年変化（中1→中3） 〈平均正答率〉

経年変化	合計			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
H24県学力(中1)	67.9	67.3	0.6	70.9	71.4	▲0.5	64.8	63.2	1.6
H26全国学力(中3)	66.8	61.9	4.9	65.9	63.2	2.8	67.7	60.7	7.0
H24、H26比較			4.3			3.3			5.4

【表6】H27年度中学校3年生の経年変化（中1→中3） 〈平均正答率〉

経年変化	合計			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
H25県学力(中1)	50.4	52.1	▲1.7	56.2	58.0	▲1.8	44.6	46.2	▲1.6
H27全国学力(中3)	59.1	59.9	▲0.8	68.3	69.2	▲0.9	49.9	50.6	▲0.7
H25、H27比較			0.9			0.9			0.9



【表7】平成26年度中学校1年生の経年変化（小6→中1）

〈平均正答率〉

経年変化	合計			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
H25全国学力(小6)	57.6	60.2	▲2.6	51.9	54.6	▲2.7	63.3	65.9	▲2.6
H26県学力(中1)	60.2	62.6	▲2.4	65.7	67.4	▲1.7	54.7	57.7	▲3.0
H25、H26比較			0.2			1.0			▲0.4

【表8】平成27年度中学校1年生の経年変化（小6→中1）

〈平均正答率〉

経年変化	合計			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
H26全国学力(小6)	64.9	65.1	▲0.2	62.0	63.0	▲1.0	67.8	67.2	0.6
H27県学力(中1)	63.4	63.1	0.3	61.6	62.7	▲1.1	65.2	63.4	1.8
H26、H27比較			0.5			▲0.1			1.2

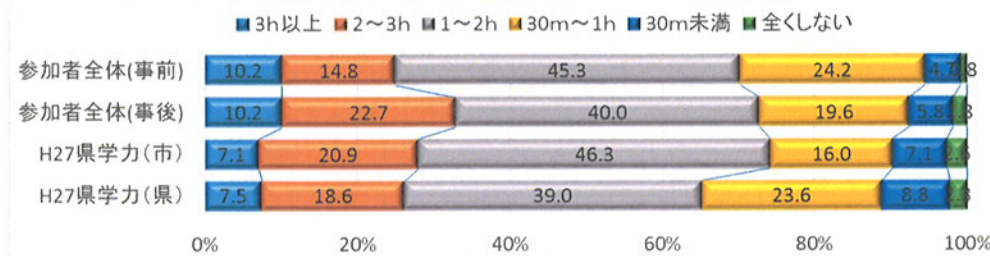
※算出方法

- 合計 ・全国学力調査 (国語A+国語B+算数(数学)A+算数(数学)B) ÷ 4
- ・県学力調査 (国語+数学) ÷ 2
- 国語   ・全国学力調査 (国語A+国語B) ÷ 2
- ・県学力調査 国語の正答率をそのまま転記
- 算数   ・全国学力調査 (算数(数学)A+算数(数学)B) ÷ 2
- (数学) ・県学力調査 数学の正答率をそのまま転記

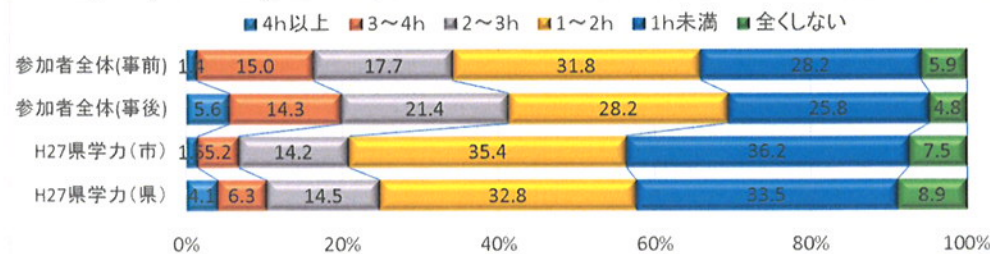
(3) 備前まなび塾に参加した塾生のアンケート調査から

- ・備前まなび塾に参加した児童生徒は、普段の学校の授業以外の家庭学習や休日の家庭学習において、1時間以上学習する割合が備前まなび塾に参加してから増加している。【グラフ4、5】
- ・また、学習内容の理解の状況や備前まなび塾への参加の意欲は、実施初年度に比べ現在の方が向上している。【グラフ6、7】

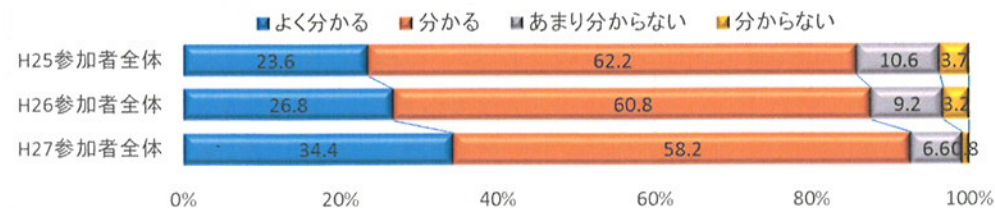
【グラフ4】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む。）



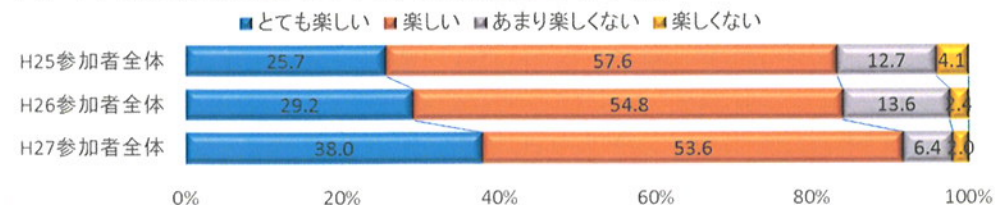
【グラフ5】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



【グラフ6】学習内容は分かるようになりましたか。



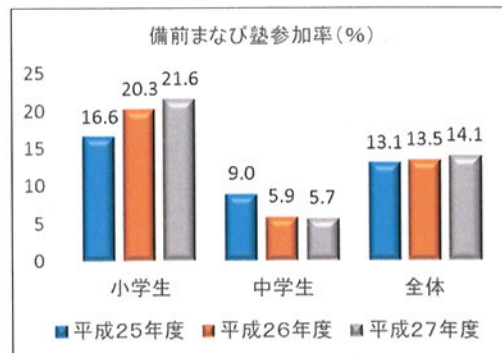
【グラフ7】備前まなび塾での学習の感想はどうか。



#### 4 残された課題とその解決への展望

##### (1) 備前まなび塾運営上の課題とその解決への展望

- ・学習時間40分×3コマでの実施だと、3コマ目の時間帯での塾生の学習への集中力が持続しない傾向が見られる。来年度以降は、タブレットPCを活用した学習や体験活動なども取り入れることを検討中である。
- ・小学生の参加は、徐々に増加してきている一方、中学生の参加が徐々に減少してきている。【右グラフ】これは、部活動の時間とまなび塾の時間が重なるためと考えられる。来年度以降、開塾時間の変更等の工夫が必要と考えられる。
- ・また、学習支援者の確保についても課題があり、大学との連携による大学生の支援者募集や市民への一層のPR活動を推進していく必要がある。



##### 5 その他、特記事項

- ・今回得られた成果は、備前まなび塾の取組だけでなく、授業改善や放課後等を活用した補充学習等の学校での教育活動の充実も大きな要因である。
- ・家庭学習の充実のため、岡山県が作成した「家庭学習のスタンダード」も活用しながら児童生徒の指導や保護者の協力を働きかけていきたい。

(執筆者：岡部 高弘)

##### <問い合わせ・連絡先>

備前市教育委員会学校教育課

TEL：0869-64-1840

E-mail：bzgakkokyoiku@city.bizen.lg.jp

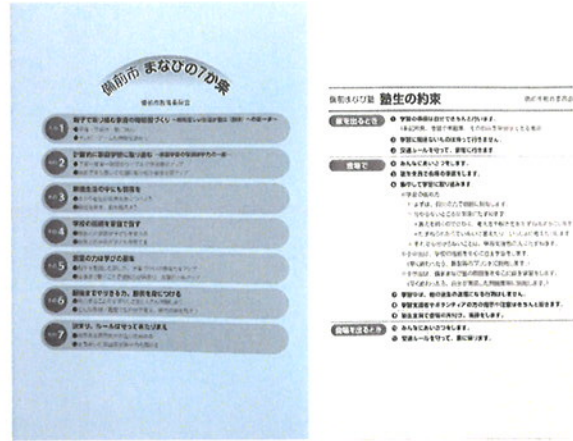


6 資料

【備前まなび塾中学生用問題集】



〈中学生には無償で提供〉



〈問題集内側に「備前まなびの7か条」と「備前まなび塾塾生の約束」を印刷〉

【備前まなび塾の様子】



〈支援者は地域の方〉



〈支援者は大学生〉



〈支援者は市役所職員〉